

第15回名古屋大学ホームカミングデイ メインテーマ「社会の中の大学」

第15回名古屋大学ホームカミングデイが、10月19日(土)、東山キャンパス及び大幸キャンパスにおいて開催されました。テクノ・フェア名大2019、名大秋祭(秋草祭)と同時開催し、当日はあいにくの天候でしたが、卒業生や在学生のご家族、地域住民の方々を中心に約3,000名の方にご来場いただきました。

ホームカミングデイには、「故郷に帰る」という意味が込められており、同窓生が母校に集うだけでなく、在学生のご家族や教職員OB、地域住民の方々も、本学との絆を深めていただくための交流の場として、平成17年から、毎年10月の第3土曜日に開催しています。



当日の運営は、主に事務局の職員が、来場者への対応、駐車整理などの業務にあたり、各部局においても、職員と学生が行事を運営し、同窓生や在学生の保護者、地域住民の皆様をお迎えしました。

また、あかりんご隊の学生は、「あかりんご隊科学実験」の運営を、ラグビー部に所属する学生は、「親子で楽しむ『動きづくり』『仲間づくり』体験—ラグビーを教材として—」の運営をしました。

当日は、来場者記念品として、ホームカミングデイレーフレット等の入ったバッグを配付しました。

■特別企画：未来社会を拓く科学：宇宙へ、そして地球へ

講演①「小惑星探査機はやぶさ2の挑戦」

講演②「地球と宇宙のつながりに迫る一天気を左右する太陽活動と宇宙環境変動—」

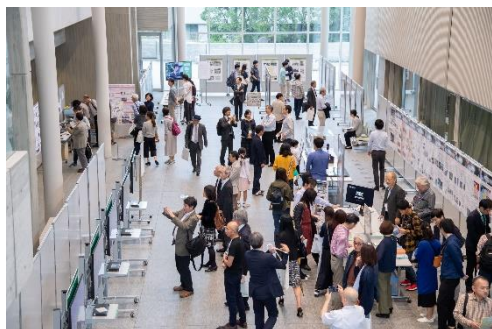
午前中、豊田講堂シンポジオンホールにおいて、ISAS/JAXA准教授「はやぶさ2」プロジェクトマネージャー・津田 雄一氏と武蔵野美術大学准教授・宮原 ひろ子氏による講演会を行いました。会場には200名以上が来場し、満席となりました。

講演後には、名古屋大学大学院環境学研究科の渡邊 誠一郎教授、名古屋大学宇宙地球環境研究所の塩川 和夫教授、草野 完也教授(コーディネーター)が加わり、パネルディスカッションが行われました。

本講演会では、聴覚障害をお持ちの方々向けに要約筆記*を実施しました。

*記者が講師の話のを要約し、文字をスクリーンに投影





また、特別企画関連展示として、豊田講堂ホワイエでは、宇宙地球環境研究所の紹介展示を行い、パネルや人工衛星模型などを多くの方にご覧いただきました。

その他、ホワイエでは、未来材料・システム研究所の紹介展示や大学文書資料室による「名大創立 80 周年記念展 名古屋帝国大学の誕生」、「スライドショー 写真で見るあの頃の名大」、スタンプラリー受付、名古屋大学 HeForShe 活動紹介が行われ、にぎわいをみせました。

■ 名古屋大学の集い

午後から、豊田講堂ホールにおいて、卒業後 10 周年、20 周年、30 周年、40 周年、50 周年を迎えられた周年同窓生の皆様、抽選で当選された皆様をお迎えして、「名古屋大学の集い」を開催しました。本学教育学部卒業生の夏目 みな美アナウンサー（CBC テレビ）が司会進行を務めました。はじめに、松尾総長、柴田昌治全学同窓会副会長から挨拶があり、続く「名古屋大学国際交流貢献顕彰授与式」では、国際連合食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所所長 ンブリ・チャールズ・ボリコ氏、日本東朋テクノロジー株式会社専務取締役・上海東朋科技有限公司 CEO 張豪氏、Tun Hussein Onn University of Malaysia 准教授 ナファリザル ビン ナヤン氏の 3 名に、国際的な取り組みに対する功績を称え、表彰状と記念品が授与されました。



創立 80 周年記念特別企画「未来のクルマ」では、学内外の研究者らによるリレートーク等につき、メディアアーティストで筑波大学准教授の落合陽一氏による特別講演「身体と移動のダイバーシティ」が行われました。特別座談会「未来のクルマ・クルマの未来」では、落合陽一氏、ノーベル賞受賞者の天野浩教授、名大大学院修了生で電動車いすベンチャーWHILL 株式会社創業者の福岡宗明氏、名大 COI 研究リーダーの森川高行教授が登壇し、大変盛り上がりました。



■自動運転車展示

豊田講堂ホワイエでは電動車いす WHILL が、豊田講堂前庭では、自動運転車（ポスティー、ゆっくりコムス、ゆっくりバン）の展示が行われました。



■活躍する名大アスリートブース

東京オリンピック女子マラソンの日本代表選手に内定した本学経済学部卒業生の鈴木亜由子さん、プロ野球のドラフト会議で中日ドラゴンズから育成1位指名を受けた本学経済学部4年の松田亘哲さんの等身大パネルで記念撮影をする人や応援メッセージを記入する人で賑わいました。



■スタンプラリー

主要施設8カ所（赤崎記念研究館、減災館、ナショナル・イノベーション・コンプレックス（NIC）、2008 ノーベル賞展示室、トランスフォーマティブ生命分子研究所（ITbM）、野依記念物質科学研究館（ケミストリーギャラリー）、中央図書館、博物館・古川記念館）を巡るスタンプラリーを実施しました。主要施設8カ所のスタンプ押印を完了された方のうち、抽選で100名に「名大オリジナルマグカップ」を進呈するこのイベントには、多数の来場者が参加しました。参加者からは「スタンプラリーを通して大学の見どころを見学できた」などと好評でした。



■体験企画「あかりんご隊科学実験『科学の力で光る!?わくわくスライムづくり!』」、「親子で楽しむ『動きづくり』『仲間づくり』体験—ラグビーを教材として—」

野依記念学術交流館1階カフェスペースでは、「あかりんご隊科学実験『科学の力で光る!?わくわくスライムづくり!』」を行いました。

保護者の方に見守られながら、本学の理系女子学生で構成される「あかりんご隊」が実験方法を説明し、子どもたち自身が暗闇で光るスライム作りを通して「りん光」について楽しく学びました。



陸上競技場で実施予定であった、「親子で楽しむ『動きづくり』『仲間づくり』体験—ラグビーを教材として—」は、雨天のため、新体育館で実施しました。名古屋大学ラグビー部教員と部員の指導の下、ラグビーを教材とした状況判断や身体動作などを学び、親子のふれあいを楽しむ様子が見られました。



■中央図書館、博物館、大学文書資料室企画

中央図書館では、オープンライブラリーのほか、重文指定記念「高木家文書展」を開催しました。

本のリユース市は、学術書等手に入りにくい図書が安価に入手できることもあり、今年も多くの方が本を購入されました。

博物館では、名古屋大学が収蔵する甲殻類標本や考古資料等の様々な展示を開催しました。

豊田講堂ホワイエでの大学文書資料室による「名大創立80周年記念展 名古屋帝国大学の誕生」、「大学文書資料室 スライドショー 写真で見るあの頃の名大」では、立ち止まって当時の写真を懐かしむ姿が多数見られました。

また、「東山キャンパス名大史ツアー」も開催され、参加者は、本学の歴史に関わる説明を聞きながらキャンパス内を興味深そうに回っていました。



■ 販売コーナー



豊田講堂南側ピロティの販売コーナーでは、農産物の販売、大学生協による名大グッズ等の販売が行われました。

農産物の販売では、フィールド科学教育センター 東郷フィールドの大地で育てられた新鮮な野菜やお米が販売され、人気を集めていました。

大学生協による名大グッズ等の販売では、名大饅頭や名大オリジナルマグカップなど豊富な商品が並び、多くの人で賑わいを見せていました。

■ 創立 80 周年記念名大ビアフェスタ

名大のシンボル豊田講堂前庭で、創立 80 周年を記念したビアフェスタが行われ、来場者は、ビールやグルメを手に語り合い、名大生らによるジャズやアカペラの生演奏を楽しみました。



■ その他各学部・研究科主催行事等

各学部・研究科においては、市民公開講座、同窓生向け行事、保護者向け行事等が実施されました。

多彩な分野の講演タイトルが出揃った市民公開講座等は、現役の名古屋大学教員だけでなく、名誉教授や外部講師等を講師にお迎えし、同窓生も一般の方も楽しめる講演内容の工夫が凝らされていました。

また、保護者向け行事では、各学部・研究科ごとに、教育・研究内容の紹介や進路・就職状況について説明があり、保護者からの質疑応答や個別相談も行われました。保護者向け行事に参加いただいた方には、日頃、在学生在が食べている大学生協の食事も体験していただきました。参加者からは、「普段子供からの情報が少ない中、学生生活について情報を得られる貴重な機会であった、また教員と直接話ができるよかった」などのお声をいただきました。

参加された多数の方に、楽しい一日を過ごしていただき、ホームカミングデイを通じて、本学との繋がりをより一層深めていただくことができました。来年も 10 月の第 3 土曜日（2020 年 10 月 17 日（土））に開催を予定しておりますので、是非、お越しください。